

刊夕日六廿

一般商況は次第に活潑を呈しつゝ、  
月せり京城、税關出張所取扱  
係の同月中貿易高は之を前月に比  
較移出一萬六千餘圓を減退し輸  
入は三十萬四千餘圓の増加にして前  
年同期に對比すれば輸移出十一萬一  
千餘圓輸入三十三萬九千餘圓の増

に便知。專ら同國の爲めに盡瘁し以て今日に及べりと云ふ。

一 岡山畜産品評會 廣南南道岡山畜産組合に於て十二月一日より同組合第二畜産品評會を開催し同三日午前十一時より同式場にて於て食品授與式を舉行する筈。

仁川

▲成植品展覧會盛況 二十五六の兩日開催の仁川公立普通學校兒童保護者會及び成植品展覧會は仲々の盛況にて場内人を以て埋まりたり ▲和川書記長東上 仁川商會館所和川書記長は認

共に抑界の前途を危まざるを得ず

(大坂支局)

問題眞に廿日大阪に向ひたるが端  
 大阪商船群山代理店として復た  
 山商議會頭として群山刻下の大問  
 たる米穀運送機關の調節を計るべ  
 商船本社と交渉の爲め上阪したる  
 のなれば商船本社と相當便宜を與  
 るに至るべく期待せらるる秋霜  
 群山港に於ける船體問題は庭

所部河竹四郎、威風及び西瀛  
 本生之助、勝武清次郎、有祖技術  
 元山宮本勘兵衛、森島善清等の  
 任命されたり ▲元山大隊と除隊  
 歩兵第七十四聯隊一大隊(元山)  
 の満期除隊兵は合計一百九十五  
 して二十三日午前九時より同營  
 於て除隊式を舉げしむるが愈々

時は汽車中に於て語つて曰く  
 露國國內に在つては戦争の状況は莫  
 然として殆ど其の真相を窺知する事  
 難し新聞云ふ新聞通信といふ通信  
 は極めて嚴密なる檢閲を経たる上な  
 らざれば頒布せられず此雷に露西  
 の多々な事也の文藝批評に於ても露  
 西の通譯を以て予等も常々新聞の  
 通達せざるの風なるを以て予等も常々  
 新聞の通達せざるの風なるを以て予等も常々

露國國內に在つては戦争の状況は莫然として殆ど其の真相を窺知する事難し新聞云ふ新聞通信といふ通信は極めて嚴密なる檢閲を経たる上な

不利益なる報道

之れを抹殺したる上にあらざれば因に之れを抹殺したる上にあらざれば因に之れを抹殺したる上にあらざれば因に

露國國內に在つては戦争の状況は莫然として殆ど其の真相を窺知する事難し新聞云ふ新聞通信といふ通信は極めて嚴密なる檢閲を経たる上な

不利益なる報道

之れを抹殺したる上にあらざれば因に之れを抹殺したる上にあらざれば因に之れを抹殺したる上にあらざれば因に

見し多大の差を以て鐵道の券價反して  
港灣條案の計畫中なりと聞けり、露  
國スツーマル内閣送せりとの事な  
る。

▲予等の滯露中も 屢々内  
閣送送の事を耳にしたり最も新聞紙  
等は時節節内閣動搖に關する報道通  
一切擧げせり予等の滯露中は殆ど  
一切の新聞を讀みしに於て

し俄に其の大台なる報を觀に俄ち月  
度支那方面への輸出旺盛なる一般  
需要の増加せんと相續して好況を呈  
し數月に比し一割三歩七月頃に比  
し四割方の暴騰を觀し鮮内に於ては  
案外狂勢極なりと先商の爲め殊  
に先物品約定多からず市價漸騰の氣  
勢を示せり以上之の如く出入物資は何

出願中なり、之れ亦必らず認可  
 するものあるべし、と勇み居れり。一體光  
 州は、地方的結合の強き隱見受  
 け、日用品なども、自作自給を奨  
 め、酒と醤油などは他所の  
 産品は、努めて排斥し、木桶又

何人とも知る處、而も近來鮑の亂  
 獲多きが故に其繁殖を害しつゝあ  
 るは事實也。元來鮑は約三箇年を  
 経ざるものに非ざれば産卵せず。  
 現今に於ては、其産卵を有するもの  
 甚だ少なし。之乃ち繁殖の少きを  
 證すると共に、其亂獲の昭た

色に化せられて、自ら工夫して蓄筆を弄もぐ、近來は佛畫等をも能くすると、之れ自然の感化力を遺憾なく發揮したる實例也廿四日

□松江里より 光州より松江里へは一路坦々、路傍の白楊樹、胡蔴の黃綠、行人の目を喜ばす、

模倣なり。刻進み、四邊靜るや奇妙なる浪花節は、高潮に達し眼りに入るを得ざるには、ホトホト閉口せり、加ふるに隣室には二三金堀らしき人の戯、一攫千金の打合頻也。耳を掩み漸く眠り、萬金を得たるを夢ひ阿々廿四日

平岡(山一)  
 田沼氏(全庸道技師)指宿成吉氏(露南軍)  
 第二二五夜收入(若巴城城)  
 第二二氏(西段五郎氏)以上連兵六  
 十六日朝入京上  
 十七日氏(工學士) 同上  
 十八日氏(實政司) 同上  
 十九日氏(實政司) 同上  
 二十日氏(實政司) 同上  
 二十一日氏(實政司) 同上  
 二十二日氏(實政司) 同上  
 二十三日氏(實政司) 同上  
 二十四日氏(實政司) 同上  
 二十五日氏(實政司) 同上  
 二十六日氏(實政司) 同上  
 二十七日氏(實政司) 同上  
 二十八日氏(實政司) 同上  
 二十九日氏(實政司) 同上  
 三十日氏(實政司) 同上  
 三十一日氏(實政司) 同上  
 三十二日氏(實政司) 同上  
 三十三日氏(實政司) 同上  
 三十四日氏(實政司) 同上  
 三十五日氏(實政司) 同上  
 三十六日氏(實政司) 同上  
 三十七日氏(實政司) 同上  
 三十八日氏(實政司) 同上  
 三十九日氏(實政司) 同上  
 四十日氏(實政司) 同上  
 四十一日氏(實政司) 同上  
 四十二日氏(實政司) 同上  
 四十三日氏(實政司) 同上  
 四十四日氏(實政司) 同上  
 四十五日氏(實政司) 同上  
 四十六日氏(實政司) 同上  
 四十七日氏(實政司) 同上  
 四十八日氏(實政司) 同上  
 四十九日氏(實政司) 同上  
 五十日氏(實政司) 同上  
 五十一日氏(實政司) 同上  
 五十二日氏(實政司) 同上  
 五十三日氏(實政司) 同上  
 五十四日氏(實政司) 同上  
 五十五日氏(實政司) 同上  
 五十六日氏(實政司) 同上  
 五十七日氏(實政司) 同上  
 五十八日氏(實政司) 同上  
 五十九日氏(實政司) 同上  
 六十日氏(實政司) 同上  
 六十一日氏(實政司) 同上  
 六十二日氏(實政司) 同上  
 六十三日氏(實政司) 同上  
 六十四日氏(實政司) 同上  
 六十五日氏(實政司) 同上  
 六十六日氏(實政司) 同上  
 六十七日氏(實政司) 同上  
 六十八日氏(實政司) 同上  
 六十九日氏(實政司) 同上  
 七十日氏(實政司) 同上  
 七十一日氏(實政司) 同上  
 七十二日氏(實政司) 同上  
 七十三日氏(實政司) 同上  
 七十四日氏(實政司) 同上  
 七十五日氏(實政司) 同上  
 七十六日氏(實政司) 同上  
 七十七日氏(實政司) 同上  
 七十八日氏(實政司) 同上  
 七十九日氏(實政司) 同上  
 八十日氏(實政司) 同上  
 八十一日氏(實政司) 同上  
 八十二日氏(實政司) 同上  
 八十三日氏(實政司) 同上  
 八十四日氏(實政司) 同上  
 八十五日氏(實政司) 同上  
 八十六日氏(實政司) 同上  
 八十七日氏(實政司) 同上  
 八十八日氏(實政司) 同上  
 八十九日氏(實政司) 同上  
 九十日氏(實政司) 同上  
 九十一日氏(實政司) 同上  
 九十二日氏(實政司) 同上  
 九十三日氏(實政司) 同上  
 九十四日氏(實政司) 同上  
 九十五日氏(實政司) 同上  
 九十六日氏(實政司) 同上  
 九十七日氏(實政司) 同上  
 九十八日氏(實政司) 同上  
 九十九日氏(實政司) 同上  
 一百日氏(實政司) 同上







鳥をあさる雀は常に煤色  
の毛色を持つてゐるも

射をやつて一種の快感を購ふのである。同じ人類として一掬の涙を禁じ

山縣五十雄 村上隆吉共著  
晶の道しるべ

山縣五十郎 村上隆吉 著  
富の道しるべ 價十五圓  
東京大正書局發行 三〇〇號 皇城日報社代理

[illegible]



第二百二十七席

浪上義三郎速記

A black and white illustration of a man in a dark robe standing by a window, looking out. A small dog is visible outside the window. The man has a bag slung over his shoulder.

それなら何うぞ此方へお上り下さい  
男「洗足をくんねね、こいつは  
俺の大事の袷・袷・袷だから其方へ藏  
つて置いてくんねね」を肩に擔いで  
居た麻袋を渡したから、受取つて見  
ると何が入つて居るかいや重い何

泌尿器科 花柳病科 皮膚科  
 院長 安部修三  
 京城永楽町二丁目金光教會隣  
**安部醫院**

電話 四一九番

す。「お湯が沸きましたからお入  
なさいまし」男「何にしろ湯に入らわ  
け内」女「股が脱けねえ、ぢやア」  
風呂入つて来やうと「風呂呂へ来  
て見ると結構な風呂で」男「大膽に坂な  
風呂場だ」堀木の湯屋よりか餘程左  
きい」風呂から上つて元の座敷へ来  
ると滑靴が出まする、番頭が慌  
（）に挨拶に来る、男「然うぢや」挨拶

本町一丁目三越面電話一〇四七号

齒科診療 野田 齒科醫院  
齒科醫士 野田 應治

をされちやア困る、扶摩なんぞは  
う抜きにしやう、時に酒を飲のに坐  
つて居ちやア窺度で旨く無ねから安  
坐を卷らせう」と遠慮の無い男。

▲六白（六六六） 瘧疾のきかぬ事有る日新事見合（六六六） 南方  
吉晴飯（六六六） 七赤 福を迎る日轉居柳葉川出地名  
求職建築師大なる金額を計る等 萬吉八白  
力を増す日轉居旅行入店名並探偵求職者調査

日本新聞 毎号大々々々 野史秘聞 有る  
 如事手經手は吉又又又又又又のべし 一白  
 右の日報に於ては 女史の日報に於ては  
 此の日報に於ては 二白 女史の日報に於ては  
 有る建求米求米求米求米求米求米求米求米求米  
 一白の有り 新米求米求米求米求米求米求米求米  
 るべし 新米 平運日なれど 女史 皆日  
 方女史の日報に於ては 大陣有る日報  
 入求米 姓名引出 出題は 結婚 離婚 不妊 等

てんかん

ヒキツケ困る方切手三銭送れ永年  
病も自宅でなす最善の良藥を教  
名古屋市中區南小川町  
救生館

品質  
優男  
サツク  
上製  
三十二  
五十個

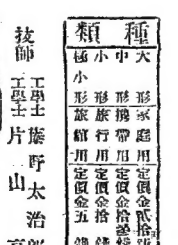
特別製十個四十錢五十個圓七十錢  
 珍形一個二十五錢特別製八十錢  
 女用一個五十錢特別製八十錢  
 關稅密送料入錫(郵券代用)割増  
 西代理店岡山市本町通三丁目  
 郵西商會(振替大阪一九〇六四番)

**MITSUWA SOAP.**

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, and nursery.

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に従つて其種類を異にす。雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼ならざるべからざるは、素より當然のこゝなりとす。

皮膚の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黒を貴ぶ毛髪<sup>ケモノ</sup>の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、常に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可らず。



化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性質を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺激を感じずべき虞れあるものを用ひず。

一、温雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し。而かも浴室に用ひて中途に浴り崩るゝが如き憂憂なし。

即ち、一般の家庭に於ける、浴室化粧用として、衛生に叶ひ、済に合する、理想的實用品なり。

藥庭家ワツミ  スブツロド油・肝

電話特長浪花 丸見屋商店 東京市日本橋區四丁目丁目 振替東京 一七〇番

ライオン歯磨石なり

進歩常止に久し

その信用の斯くも偉大にして、  
その販路の斯くも廣汎なる、

これ品質最良効果卓拔の、自然に齎したる結果に外ならざるなり。

本舖 小林富次郎  
東京本所外手町六番

15-661

**質**  
京城黄金町二丁目  
永樂町(傳留所北入)  
**堀佐營業所**  
(電話六三九番)

佐賀縣基里村  
結核專門

古賀病院

贊  
京  
內  
兒  
科

小兒科  
入院隨音  
每日五名を限り

醫學博士 古城憲弘  
醫學士 上野亮藏

生婦人科

本院  
電話 二三四〇番  
龍山庚午通(柳町)  
電話 一〇六番

中央婦人病院  
院長 大笠茂

戸瀬  
二町旭  
瀬  
(電)

外科  
皮膚  
舊)目丁二  
學醫  
戶  
九四二

三丁目  
士潔  
(番八)

經學院司成

李人植儀病氣の  
處養生不相叶十一  
月廿五日午後十一  
時死去致候此段辱

知諸君、謹告仕候  
追て二十八日午後二時、  
南洞七十二番地自宅出楯  
午後三時半阿呪(麻油)火  
葬場に於て神葬相營候向

男親族  
李升堯  
李堯珪

友代總  
男爵子爵  
朴李  
齋容  
斌植

代總  
朴  
稚  
祥







富雄醫院







